

井の国歴史懇話会報

VOL13

発行：井の国歴史懇話会事務局 発行日 平成 28 年 8 月 10 日



徳政令を凍結する

武藤全裕



女城主に就任した直虎は永禄8年9月15日、井伊家菩提寺である龍潭寺の南溪和尚宛に「龍潭寺寄進状」を発給しました。この文書には次郎法師の署名と、直虎を城主と示す黒印が押してあり、龍潭寺では「黒印状」と呼ばれ、今日まで大切に保存されています。黒印状は虎松5歳の時、井伊家の子孫繁栄を祈願して龍潭寺へ寄進した文書です。この時期、井伊領内の農村では、相次ぐ戦に多くの若者が徴兵されて戦死したため、田畑は荒れ、農民の生活は困窮していました。そこで農民は高利貸しの商人から田畑を抵当に借金をしますが、返済の目処は立ちません。困った農民は団結して徳政令の発布を駿河の今川氏真に訴えました。徳政令とは今までの借金を帳消しにする法令です。

永禄9年、氏真は「井伊谷徳政」を発布しました。しかし直虎はこの徳政令にストップをかけました。もし、井伊谷徳政が実施されると井伊領の支配者が今川に移り、井伊家の存続が危うくなってしまいます。大きな政治問題に直面しますが、直虎は3年間、この徳政令を拒否し続けました。

永禄11年11月、ついに氏真は家老関口氏経を井伊谷に差し向けます。そして、ただちに徳政令を実施するという文書に署名をさせました。この文書は北区細江町中川にある蜂前神社に残されています。文書には次郎直虎と署名され、花押が書かれています。花押は今で言う実印に当たるもので、当時は男性の城主しか使用できなかったと言われ、女城主直虎の花押が書かれた文書は全国でも珍しい貴重な文書です。

永禄9年11月、直虎は井伊領川名付福満寺に曾祖父直平の追善供養のために洪鐘(おおきなつりがね)を寄進します。この洪鐘の銘には、直虎と並んで

願主として瀬戸四郎右衛門の名があります。井伊領で名の知られた豪商瀬戸方久です。永禄に入り、井伊家は相次ぐ出陣命令で莫大な戦費を消耗し、経済的危機に見舞われます。この井伊家を支えてきたのが、瀬戸方久でした。この商人方久の損害を少なくするため、徳政令を凍結し続けたとの説もあります。

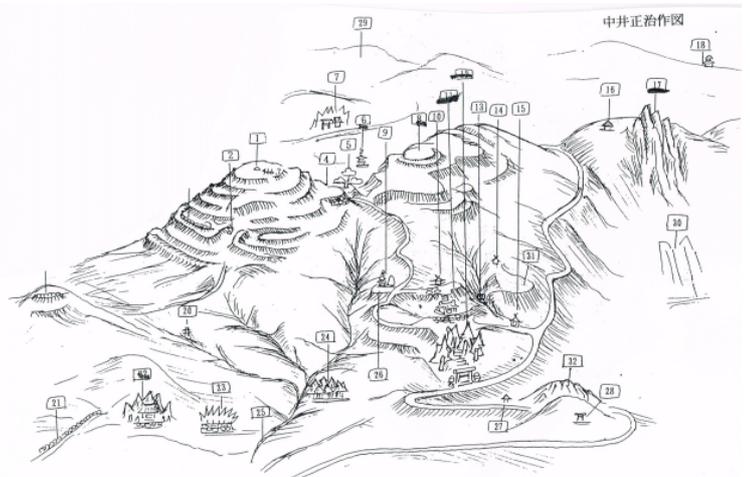
6月 現地研修 「龍潭寺閑栖和尚と巡る旅」

・直虎ゆかりの里めぐり

～三岳神社・如意院・東光院・直親墓所・蜂前神社・井殿の塚・井伊氏居館跡～

三岳神社

境内は、三岳城当時、三の城(出丸)のあった場所にあり水源地を要していました。



鎧橋

永禄6年井伊直平は氏真の命により今川から離反した天野景泰・元景親子を社山城に攻めている最中に有玉で急死。その遺体を家臣の大石作左衛門が、川名まで背負ってきました。この橋のたもとで、体と着ていた鎧をあらったところから、鎧橋の名がつけられました。

如意院・直宗の妻(浄心院墓)

井伊直宗の正室浄心院が天文11年田原城攻めで戦死した夫の菩提を弔うために建立しました。



浄心院のお世話をした村人は、隠居免といわれる年貢の免除を受けたといわれています→ 棚田見学

東光院

能仲和尚(南溪和尚の弟子)は、今村藤七郎と共に亀之丞を信州松源寺に送りました。和尚の墓地は東光院にあり、渋川町中にも直親の墓があります。当時の村民が直親を慕って建てたと推察されます。

ゆうけい墓地



一山越えれば愛知県、田沢地区に直親の庶子ゆうけい様の伝承があります。*井伊家の系図には南北朝時代に田中祐慶の名があります。

直親墓所

都田川畔に掛川で朝比奈氏に殺害された直親の墓所です。直弼公寄進の灯籠が一对あります。直親の戒名は「大藤寺殿剣峰宗恵大居士」で、昭和49年の七夕豪雨で本来の場所(大藤寺廃寺)から現在地に移されました。



蜂前神社

三岳神社と並び式内社です。古来からこの地が栄えていた様子がみてとれます。戦国期の井伊家の古文書が多く残っています。

井伊氏居館跡



町中に今もその形跡が残っています。

28年度の予定 (敬称略)

9月13日(水) 13時30分～ 龍潭寺客殿

・屋内講座「井伊氏の地を知ろう」

講師 武藤全裕

資料代¥500(非会員は¥1000)

11月20日(日) 9時30分～16時まで

現地研修・講演 「波乱万丈の井伊家」

～直平から直虎まで～

講師 小和田哲男

旧川名小学校体育館と周辺地域

NPO法人かわなの里ほぐせんぼ主催イベントと

講話会参加 定員25名

*会費は9月13日の講座時にお知らせします。

小和田先生の講演も参加しますので、会員優先。

*当日現地で「直虎ゆかりの里シリーズ」川名物語。

販売¥100

2月13日(月)

現地研修 「ぐるっと浜名湖涅槃図めぐり」

涅槃図の権威竹林史博師と行く

地域の企画ご案内



浜松文芸館 企画展

「レディサムライ直虎」

8月1日～11月27日

会場 浜松文芸館

(クィート浜松 5階)

入場無料

